

平成28年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成29年 3 月 31 日

研究・研修課題名	テルモ社輸液ポンプ(TE-261)・シリンジポンプ (TE-351) メンテナンス講習会 (メンテナンスライセンス取得)
研究・研修組織名 (所属)	MEセンター
研究・研修責任者名 (所属)	藤本 欣史 (MEセンター)
共同研究・研修者名 (所属)	川畑ひとみ (MEセンター), 雨宮秀幸 (MEセンター), 長谷川竜馬 (MEセンター), 崎山貴也 (MEセンター), 郷原茜 (MEセンター), 岡田直之 (MEセンター), 古谷昭人 (MEセンター), 大澤弘孝 (MEセンター)

目的及び方法、成果の内容

① 目的 (800字程度)

MEセンターでは、輸液ポンプ (194 台)、シリンジポンプ (212 台) を管理している。これらのポンプは、院内で最も台数が多く、一日に最大 50 台以上の使用後点検依頼を受ける使用率の高い医療機器である。MEセンター通信の故障情報のうち、2割がこれらの装置を占め、離床センサーに次いで故障が多い。これは、外傷センター開設後も増加する可能性が高い。

これらの機器は、昨年まで外部委託により保守管理を行っていたが、契約が終了したため、MEセンターの臨床工学技士が保守管理を行わねばならない。しかし、メーカー研修修了者は現在1名しかおらず、年々増加している保守点検業務に対応することが難しくなってきたため、メーカー研修を受講し、保守管理ライセンスを取得することを目的とする。

② 方法 (800字程度)

テルモ株式会社によるメンテナンス講習会 (エキスパート編) を2班に分けて受講する。院内で講習会を開催することで交通費を抑え、その分多くの臨床工学技士がメンテナンスライセンスの取得が可能になる。

日時：平成29年3月29日 (水)・31日 (金)

両日とも 8:30~17:15

場所：当院 7階 C病棟カンファレンス室

講師：テルモ株式会社 中四国エリア SE 河崎賢治様

③ 成果 (データ等の図表を入れて2000字程度)

第1班：川畑・雨宮・郷原・岡田

平成29年3月29日 (水)

午前：輸液ポンプ TE-261

- 1)概要・仕様・必要専用治工具・測定機器説明
- 2)各種モード・動作原理
- 3)保守点検・故障・交換・分解・組立・調整実技

午後：シリンジポンプ 35 型

- 1)概要・仕様・必要専用治工具・測定機器説明
- 2)各種モード・動作原理
- 3)保守点検・故障・交換・分解・組立・調整実技

第 2 班：長谷川・崎山・古谷・大澤

平成 29 年 3 月 29 日（水）

午前：輸液ポンプ TE-261

- 1)概要・仕様・必要専用治工具・測定機器説明
- 2)各種モード・動作原理
- 3)保守点検・故障・交換・分解・組立・調整実技

午後：シリンジポンプ 35 型

- 1)概要・仕様・必要専用治工具・測定機器説明
- 2)各種モード・動作原理
- 3)保守点検・故障・交換・分解・組立・調整実技

講習では、輸液ポンプ・シリンジポンプを使用する上で必要な保守管理方法について学び、分解・組立、調整の実技を実機で行い、参加者全員がメンテナンスライセンスを取得することができた。

各種内部基板など、メーカー保守に頼らざるを得ない部分もあるが、今後は、従来行ってきた使用点検・定期点検だけでなく修理業務まで積極的に関わることで、いつでも安心して使用できるポンプの提供、経費削減につながることを期待できる。また、看護師、病院スタッフ等への勉強会でアドバイスをを行うことで、正しい使用方法を周知し、ポンプ故障率低下に繋げていく。